

2021年1月19日

第59回 関西財界セミナー 開催概要

一般社団法人 関西経済同友会
公益社団法人 関西経済連合会

第59回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りとなりましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 基本認識

新型コロナウイルス感染症は世界中に猛威を振るい、各国の政治・経済・安全保障に計り知れない影響を与え続けています。コロナ禍の長期化により、わが国においても、そしてここ関西においても、観光・運輸・飲食産業をはじめとした数多くの産業が打撃を受けています。国境を越えた人の移動を制限せざるを得ないなか、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ関西 2021 など数多くのイベントが延期・中止を余儀なくされています。

一方、コロナ禍は、われわれの既存の価値観を問い直す契機ともなっています。コロナ禍における対応を機として、「Face to Face」、「Real」、「Analog」の上に成り立っていたシステムから、「Remote」、「Virtual」、「Digital」の大胆な活用へという流れのなかで、新たな働き方・ビジネスモデルへの移行が急速に拡大しています。また、国と地方の関係、国際協調のあり方に改めて関心が高まるとともに、深刻化する気候変動への危機感が国境を越えて共有されています。

リスクが常在化し、不確実性が高まる時代において、何を変え、何を変えないのか。われわれ一人ひとりが考え行動し、未来を創らなければなりません。

このような認識のもと、「危機を乗り越えて創る未来～関西の底力を発揮するとき～」をテーマにセミナーを開催します。関西が力を合わせて乗り越えるべきテーマにつき、6つの分科会を設け、皆さまと活発に議論したいと存じます。

2. 日 時 2021年2月4日(木) 10時～17時30分
3. 開催方法 オンライン
4. テーマ 危機を乗り越えて創る未来 ～関西の底力を発揮するとき～
5. 主 催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会
6. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会
7. 当日スケジュール

10:00～10:05	5分	開会
10:05～10:10	5分	開会挨拶(深野代表幹事)
10:10～10:20	10分	主催者問題提起(松本会長)
10:20～11:30	70分	基調講演 慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教授、 (公社)2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー 宮田 裕章 氏
11:30～12:30	60分	昼 食
12:30～14:00	90分	分科会討議(第1セッション)
14:00～14:30	30分	休 憩
14:30～16:00	90分	分科会討議(第2セッション)
16:00～16:30	30分	休 憩
16:30～17:00	30分	関西財界セミナー賞2021贈呈式
17:00～17:20	20分	分科会議長報告
17:20～17:25	5分	顧問団代表所感
17:25～17:30	5分	主催者声明・閉会挨拶(古市代表幹事)
17:40～18:00	20分	記者会見

8. タイムテーブルと各分科会の概要

(敬称略)

2月4日(木)

◆全体会議 [10:00～11:30]

(1)開 会

(2)開会挨拶 深野 弘行 (一社)関西経済同友会 代表幹事

(3)主催者問題提起 松本 正義 (公社)関西経済連合会 会長

(4)基調講演

講師：宮田 裕章 慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教授、
(公社)2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー
演題：コロナ禍を乗り越え共創する未来

◆昼 食 [11:30～12:30]

◆分科会討議 [12:30～16:00]

第1分科会：コロナ共存下での国際社会と経済政策

新自由主義やグローバル化の拡大は、光とともに、影ももたらし、その反動として、反グローバルリズム・自国第一主義の動きが高まった。さらに新型コロナウイルスのパンデミックが発生し、国際社会の課題だけでなく、各国が抱える脆弱性もあらわになった。その解決に向け、パラダイムシフトが迫られるなか、私たちはピンチをどう乗り越え、チャンスに変えることができるか、どのような社会をつくっていくべきか、について議論する。

セッション構成：①国際情勢の変化と企業のグローバル戦略
②日本・関西が目指すべきこれからの経済政策

議 長	(株)大林組 代表取締役会長 (株)日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター所長	大林 剛郎 石川 智久
問題提起者	政策研究大学院大学 学長 (株)ニッセイ基礎研究所 総合政策研究部 研究理事 チーフエコノミスト	田中 明彦 矢嶋 康次

備考：ZOOMにて開催

第2分科会：日本の創造的復興～Green/Digital Recovery～

環境問題への国際的な関心が高まるなか、欧州ではコロナ禍収束後の経済復興の中心に気候変動対策を据える“Green Recovery”の動きが活発化している。また、世界でデジタル化の進展が加速するなか、コロナ禍が日本におけるデジタル化の遅れをさらに浮き彫りにした。変革と創造の担い手となる企業は、重要な経営課題としてこれらの問題に取り組む必要がある。本分科会では、Green/Digitalの観点から日本流の創造的復興について議論する。

セッション構成：①Green Recovery Plans For Japan
②Digital Transitions key For Japanese Recovery

議長	(株)三井住友銀行 取締役兼専務執行役員 (株)プロアシスト 代表取締役社長	角元 敬治 生駒 京子
問題提起者	(特非)国際環境経済研究所 理事・主席研究員、 筑波大学 客員教授 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部 社会イノベーション・エバンジェリスト	竹内 純子 中島 健祐

備考：ZOOMにて開催

第3分科会：これからの国と地方のあり方を考える

コロナ禍を通じて、国と地方の役割分担の課題や東京一極集中のリスクが改めて浮き彫りとなった。今こそ繁栄の多極化、持続可能な経済圏の構築が必要である。そのためには分権・分散型の新しい国づくりを図らなければならない。その先導役となる関西から提言すべき経済政策、国と地方のあるべき役割分担、必要な権限移譲・規制改革などの諸改革、さらには道州制を含めた望ましい分権・分散型社会のあり方等推進策を議論する。

セッション構成：①繁栄の多極化のための分権・分散型の国づくりの実現にむけて
②持続可能な成長を実現する国と地方のあり方

議長	三井住友信託銀行(株) 取締役会長	常陰 均
問題提起者	日本経済新聞社 編集局 編集委員 中央大学 名誉教授	谷 隆徳 佐々木 信夫

備考：Webexにて開催

第4分科会：ニューノーマルにおける働き方の質の変革

取り巻く経営環境の変化が加速するなか、企業においては、多様な人材が柔軟な働き方で活躍できる雇用のあり方を追求することが求められている。特に、コロナ禍におけるリモートワーク等の経験を中期的な企業の生産性向上に繋げるべく、働き方の質の変革とこれを支える採用・人材育成・評価・処遇等の雇用制度の変革が重要となる。

本分科会では、コロナ禍で直面した課題を整理し、ニューノーマル社会における競争力や生産性向上に向けた組織運営のあり方について議論する。

セッション構成：①コロナ禍がもたらした働き方の変化とは
②ニューノーマル社会における組織運営のあり方

議長	住友電気工業(株) 専務取締役	賀須井 良有
問題提起者	大阪大学大学院 経済学研究科教授 神戸大学大学院 法学研究科教授	大竹 文雄 大内 伸哉

備考：Webexにて開催

第5分科会：With/After コロナ時代の集客・誘客戦略

新型コロナウイルス感染症拡大により、関西の成長産業の1つであった観光産業は大きな打撃を受けている。回復に向けては、2025年の大阪・関西万博の開催など国際観光拠点の形成に向けた取り組みにとどまらず、「ワーケーション」などビジネス分野も含めた関西地域全体としての集客・誘客を視野に入れた幅広い、価値ある仕掛けづくりが求められる。

本分科会では、With/After コロナ時代の行動変容にも対応した集客・誘客のあり方を議論する。

セッション構成：①With/After コロナ時代を見据えたツーリズム戦略
②With/After コロナ時代に人々を惹きつける地域づくり

議長	(株)コングレ 代表取締役社長	武内 紀子
問題提起者	国連世界観光機関(UNWTO) 駐日事務所 副代表 (株)三菱総合研究所 主席研究員	鈴木 宏子 宮崎 俊哉

備考：Webexにて開催

第6分科会：われわれは変われるのか？～コロナ禍の Before/After～

コロナ禍は多くの課題を突きつけた。全く新しい課題もあれば、改めて顕在化した課題もあった。そして、課題の乗り越え方は各国さまざまだった。ウイルスと対峙しつつ、自国と他国を見比べつつ、われわれは思った。「今度こそ、変わらねばならぬ」と。では一体何を変えるのか？どう変えるのか？なぜ変えるのか？果たして変われているのか？そもそも「変わる」ってなんだ？少しでも立ち止まり、コロナ禍後の未来社会をつくるための議論をしたい。

※本分科会は、少人数でのディスカッションを重視した分科会です。希望者多数の場合、やむを得ず他の分科会に移っていた場合もございます。予めご了承下さい。

セッション構成：①コロナ禍が浮き彫りにした日本人、日本企業、日本社会の姿
②コロナ禍後の未来とその萌芽

議長	(弁)御堂筋法律事務所 パートナー・弁護士 コクヨ(株) 会長	武智 順子 黒田 章裕
問題提起者	トランスリンク・キャピタル 共同創業者兼マネージング・ディレクター 京都大学 大学院文学研究科教授、人社未来形発信ユニット長	大谷 俊哉 出口 康夫

備考：ZOOMにて開催

◆全体会議 [16:30～17:30]

(1) 関西財界セミナー賞 2021 贈呈式

(2) 分科会議長報告

(3) 顧問団代表所感 家 次 恒 神戸商工会議所 会頭

(4) 主催者声明・閉会挨拶 古 市 健 (一社)関西経済同友会 代表幹事

以上